

精神神経科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	レビー小体病における電気けいれん療法の臨床効果と安全性の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	精神科学講座 准教授 深津孝英
研究の対象となる方	2020 年 1 月から 2025 年 12 月までに、国際診断基準により、レビー小体型認知症(DLB)と診断された患者さん及び 2020 年の前駆期 DLB(prodromal DLB)の研究用の診断基準を満たした患者さんのうち、電気けいれん療法(ECT)による治療が行われた患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026 年 6 月 30 日まで
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>本研究の目的は、DLB 及び前駆期 DLB に対する ECT の有効性、安全性を明らかにすることである。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>年齢、性別、診断基準に記載されている画像バイオマーカー（アイソトープ検査結果）、血栓の有無を確認する D-ダイマー値や高値である場合に行われる深部静脈エコーの結果及び ECT 前後の合併症をカルテより収集します。ECT 前後の精神症状は、日本語版 BPRS（Brief Psychiatric Rating Scale;簡易精神症状評価尺度）、パーキンソン症状は、Hoehn-Yahr（H&amp;Y）重要度分類で評価します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p><b>非該当</b></p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：カルテから、年齢、性別、アイソトープ検査、血液検査、深部静脈エコー検査、臨床効果と ECT の合併症などを収集します。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年5月31日までに窓口、電話等により、下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 精神科学講座 担当者：准教授 深津孝英 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22130）